

令和5年 年頭の辞

海上安全環境部長 麻岡 秀行



令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に北海道知床沖で観光遊覧船が沈没し多くの尊い人命が失われるという重大事故が発生いたしました。お亡くなりになられた方々とそのご家族に心からお悔やみを申し上げますとともに、私どもとしましてもこのような事故が二度と起こることがないように、海上における安全確保に向けた取組を着実に推進してまいります。

具体的には、昨年末に取り纏められた「知床遊覧船事故対策検討委員会報告書」を十分に踏まえた上で、船舶検査、運航管理監査、運輸安全マネジメント等を的確に実施します。

また、海難事故全体の大半がプレジャーボート等の小型船舶であることから、海上保安部などの関係機関と連携して、パトロールを行い、小型船舶操縦者の遵守事項に関する周知啓発活動を実施します。

我が国に入港する外国船舶に対しては、ポートステートコントロール(寄港国による監督)を適切に実施し、構造・設備及び乗組員の配乗等が条約で定められた安全及び海洋環境保護等の基準を満たしていない、いわゆるサブスタンダード船の排除に努めるとともに、海難船舶による油濁損害や放置座礁船などの万一の発生に備え、船主責任保険未加入の外国船舶が我が国に入港しないよう事前通報の審査を厳密に行い、加入している船主責任保険の有効性確認のための立入検査を実施します。

これらに加え、船員災害防止の観点から、船員災害防止協会が実施する各種講習会の機会を捉え、船員労働災害に対する船員の安全意識向上を図ります。

併せて、船員の健康確保の観点から、産業医制度導入、過重労働防止、メンタルヘルス維持等、船員の働き方改革に向けた取組を推進します。

海上安全環境部においては、海上保安部や警察署等の関係機関との連携・協力体制を一層強化しつつ、管内の支局・事務所と一体となって、これ

らの施策を着実に推進してまいります。

最後になりますが、本年が事故や災害のない明るい年になることを祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。